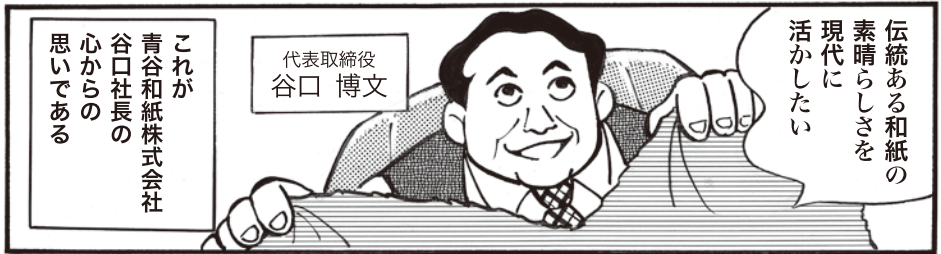


伝統ある和紙を現代に活かす！

[平成20年度 地域貢献賞]

青谷和紙株式会社 (鳥取市)



出張先で色々な話を聞き……

会社に帰ったら集めた情報を分析する毎日が続いた

やがて悪戦苦闘する中で人々のニーズが少し見えてきた

……なるほど暮らしに関するものが多くこれまでの基本的な機能は備えた上で

居心地の良さや精神的な満足感を求める人が増えている……



これなら和紙の出番もありそうだ

例えば今流行のビニール系の壁紙よりは紙の方が温もりがあつて調湿機能や質感もある

こうしてインテリアを軸にステーションナリーをはじめとするコミュニケーションの分野などに可能性をみつけると研究開発を進め

大手メーカーからの依頼もあり壁紙や襖紙プリンター用和紙などの商品を開発販路を拡大していった

やはり伝統に埋没するのではなく現代生活にどうやって和紙を役立てるかが私の使命だ

……ある日

谷口さん 半球形和紙が何とか目処がつきましたよ

えっ！ 本当ですか

壁紙と同時期に大手メーカーより依頼されていた半球形の和紙漉き技術が県の産業技術センターとの共同開発によって完成した



その研究の
成果がこの
半球形和紙
である

これは
ランプシェードとして
大手メーカーから
発売され好評を博した

さらに
研究を重ね

ついに
球形の立体漉き
和紙を完成し
ランプに応用した

和紙を透過した
柔らかな
温もりのある
その光は
人々を魅了した

和紙のランプに
手応えを感じた
谷口社長は

照明器具業界へ本格的に
参入する決心をすると
平成16年に
「経営革新計画」の申請を
行い：

商品化のために
立体漉き和紙
量産技術の
開発をすすめた

またその間に
世界的
デザイナーの
喜多俊之氏との
出会いがあった

和紙は
素晴らしい
素材ですね

ぜひ一緒に
ランプを
創りたい

何と喜多氏が
ランプのデザインを
することに！

平成17年：

わーっ
ステキ！

そこには
喜多氏の美しい造形と
和紙を通して
醸し出された光が
融合した
美しいランプが
輝いていた

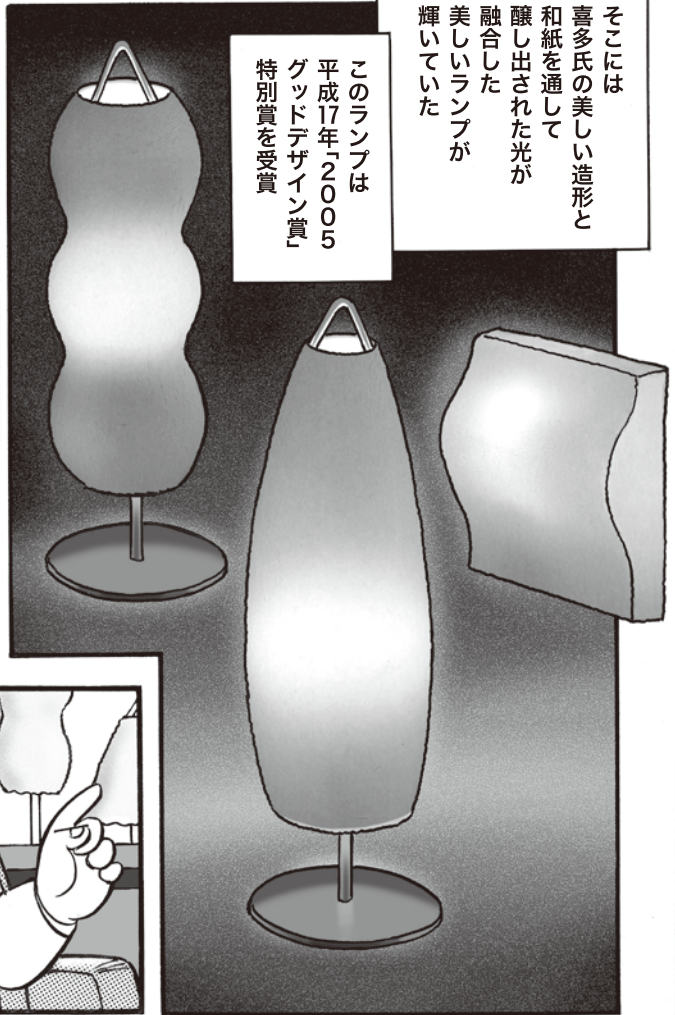
このランプは
平成17年「2005
グッドデザイン賞」
特別賞を受賞

翌年には
イタリア・ミラノに
出展されて
好評を博した
現在、ドイツに
輸出されている

だが
谷口社長は
これで満足は
していない

これは和紙の
素晴らしさの
ほんの一部です

これからも
伝統ある和紙を
現代に活かす
努力を
続けます！



青谷和紙株式会社

成功の ポイント

◆顧客ニーズに合う製品の追求

伝統的な和紙製品が現代の顧客ニーズに合わなくなっていることを察知し、長年、販路開拓と市場調査を重ね、「現代に生きる和紙」製品を追求した。

◆オンリーワン技術と高度なデザイン力の融合

産官連携で開発した「和紙を球形に継ぎ目なく漉き上げる」技術と、世界的に著名なプロダクトデザイナーのデザイン力を融合させ、洗練された暖かい和紙照明器具を開発した。